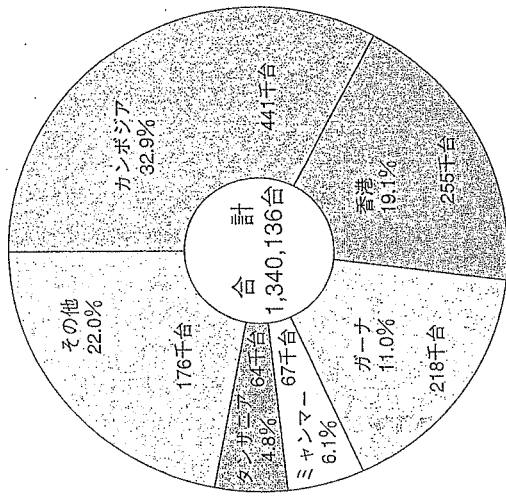
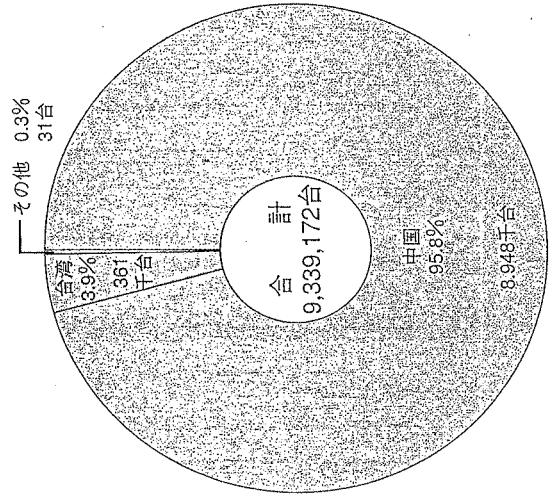


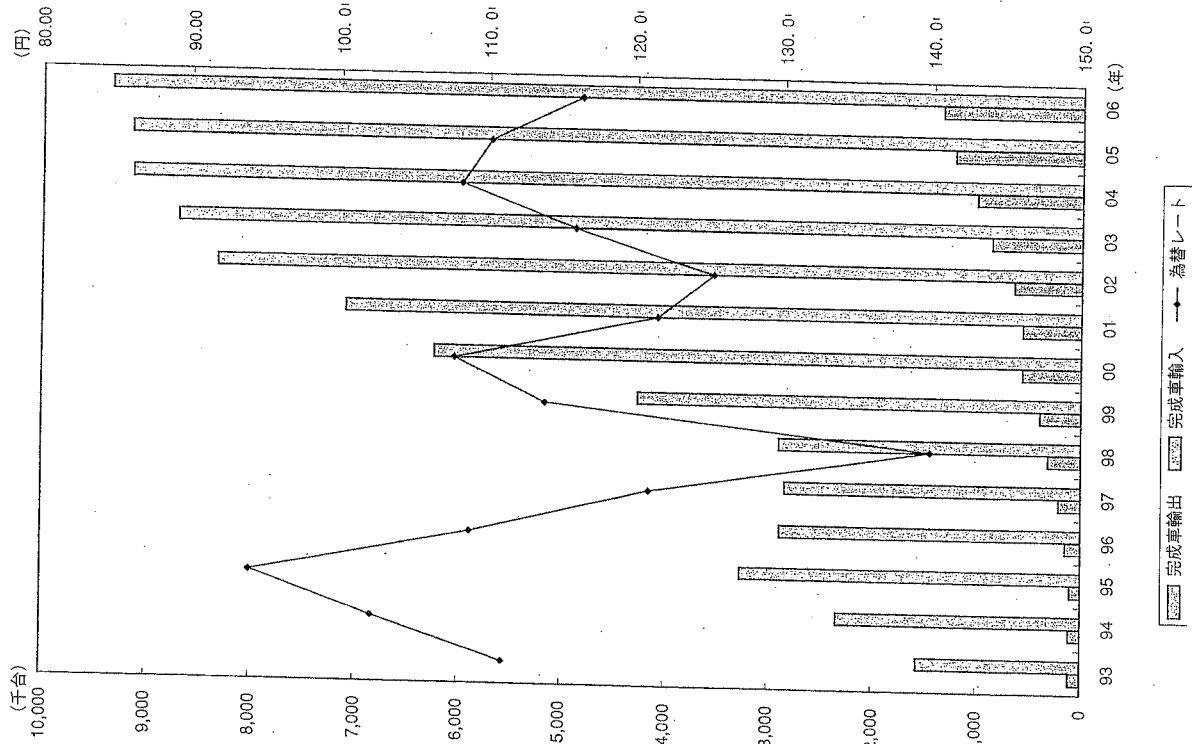
平成18年主要仕向国別完成車輸出



平成18年主要仕入国別完成車輸入



完成車の輸出・輸入と為替レート



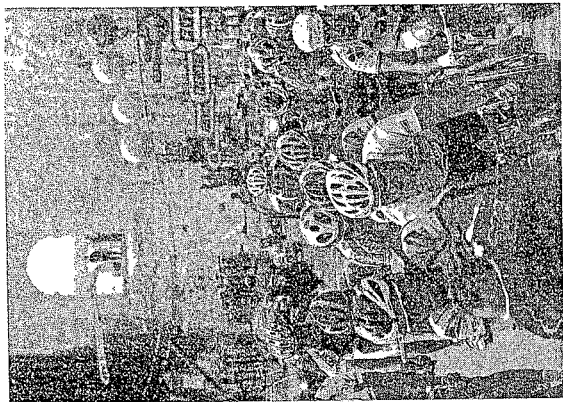
年 別	項 目	生 産			出		
		完 成 車 数 (千台)	金 額 (百万円)	部 品 金 (百万円)	完 成 車 数 (千台)	金 額 (百万円)	部 品 金 (百万円)
昭和	52	6,334	101,667	95,632	6,337	105,321	
	53	5,869	96,086	86,649	5,887	97,998	
	54	6,268	98,974	91,141	6,411	102,894	
	55	7,083	116,523	121,491	7,105	120,524	
	56	6,601	112,099	111,125	6,648	116,247	
	57	6,532	106,287	91,204	6,624	112,233	
	58	7,039	119,376	116,449	6,996	121,727	
	59	6,810	113,360	113,308	6,839	117,451	
	60	6,785	111,422	111,201	6,808	113,975	
	61	6,583	106,574	107,278	6,638	109,031	
	62	7,379	113,875	105,881	7,472	118,049	
	63	7,509	111,761	112,253	7,624	116,104	
平成	元	7,792	115,697	112,931	7,881	120,069	
	2	7,969	126,415	174,689	8,033	130,175	
	3	7,448	129,409	166,905	7,416	131,540	
	4	7,286	126,286	132,896	7,232	128,865	
	5	6,858	116,899	140,788	6,834	119,654	
	6	6,702	103,050	110,830	6,969	111,134	
	7	6,580	95,182	99,436	7,365	109,615	
	8	6,138	85,987	93,916	7,025	104,862	
	9	5,979	92,464	93,689	6,595	101,892	
	10	5,928	89,336	93,848	6,557	100,518	
	11	5,591	79,815	77,050	6,522	93,678	
	12	4,679	66,109	71,843	6,506	87,798	
	13	4,184	61,121	54,452	6,379	83,841	
	14	3,076	45,030	57,393	6,062	71,043	
	15	2,520	36,862	62,621	5,549	62,321	
	16	2,455	36,721	73,162	5,221	57,629	
	17	1,926	30,741	—	5,279	57,326	
	18	1,335	25,614	—	3,924	47,485	

(注) 1. 生産に関する数値 7. 昭和19年までの数値は(社)自転車協会の資料による。イ. 昭和20年より22年までの数値は工業統計による。ウ. 昭和23年以降の数値は機械統計年報による。

荷 部 品	輸 出			輸 入		
	金 額 (百万円)	完 成 車 数 (千台)	部 品 金 (百万円)	完 成 車 数 (千台)	金 額 (百万円)	部 品 金 (百万円)
98,392	1,103	19,721	46,885	6	99	768
86,202	640	11,341	39,792	8	98	1,118
95,938	570	10,273	48,852	21	280	1,523
123,162	1,128	23,483	73,605	1	30	1,986
112,882	1,058	26,568	71,367	1	28	1,660
99,017	674	16,073	48,415	13	411	1,775
117,705	864	21,651	61,909	6	183	1,874
114,817	856	23,363	59,275	28	359	2,276
113,559	888	22,652	52,930	40	422	2,261
109,524	682	17,681	50,298	158	1,203	2,093
109,180	416	10,876	48,665	580	4,609	3,136
101,699	325	9,387	53,737	900	6,309	4,632
118,258	200	6,510	68,213	857	6,491	6,622
166,025	226	9,467	115,426	667	7,172	8,716
158,671	203	9,426	116,776	940	12,039	10,055
142,102	111	4,833	98,201	1,170	12,694	8,192
151,196	111	3,007	109,027	1,568	14,146	8,816
114,926	112	2,025	68,719	2,341	20,186	11,428
104,725	102	1,591	63,059	3,270	27,125	13,591
98,531	147	1,066	59,387	2,888	25,395	16,294
98,746	213	1,045	67,301	2,837	25,770	18,253
97,107	317	1,085	69,653	2,893	26,797	16,813
83,095	393	840	58,270	4,263	32,377	15,391
73,512	562	971	57,626	6,234	44,240	13,436
60,022	560	793	47,938	7,092	51,031	14,094
59,292	647	828	54,296	8,326	57,030	12,275
65,810	865	1,152	65,244	8,703	55,149	11,676
76,826	1,009	1,260	80,113	9,138	54,914	12,306
—	1,222	1,365	73,820	9,144	58,147	10,740
—	1,340	1,467	61,459	9,339	65,768	8,397

但し、部品金額は(社)自転車協会統計の数字を合算したもので完成車に使用されたものを含んでいる。エ. 昭和32年より製造業の完成車が含まれることになった。平成17年より自転車部品は機械統計の対象品目から外れた。

2. 輸出及び輸入に関する数値は財務貿易統計による。



ツール・ド・フランス シャンゼリゼのゴール

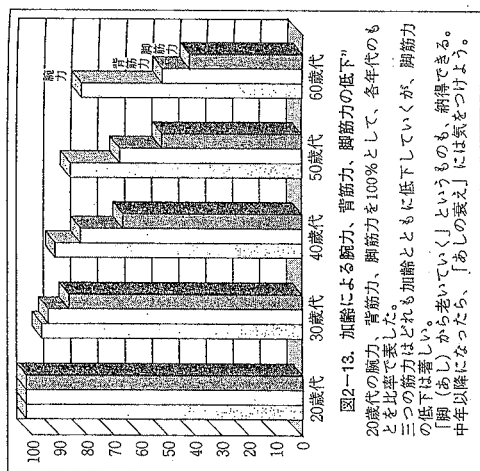
ドレースがあり、陸上競技に似ています。

一九九六年のアトランタオリンピックからはマウンテンバイクのクロスカントリーレースも種目に加わりさらに拡大しています。

また、オリンピックではありませんが、皆さんも御存知の中野浩一さんも一九七七年から一九八六年までトラック競技の中でも距離の短い世界選手権スプリントレースにおいて一〇連覇を成し遂げています。

しかし、最も人気の高い自転車レースはロードレースで先程も申し上げたツール・ド・フランスになります。このレースも一九〇三年に始まり今年で八八回を数えています。日本では、自転車レースはあまり盛んではありませんので、ピンと来ない方も多いと思いますが、二八年前に私が、ツール・ド・フランスに参加していた頃には、毎日一〇〇万人位の観客が見てくれていることが実感できました。レースの沿道にテントをはってワインを飲みながらバカンスの途中に自転車レースの応援も楽しむというフランス人のライフスタイルと言いますか自転車レースの文化というものを感心しました。一八六八年に初めて自転車レースをパリで行った文化、伝統を大事に育てている姿勢には頭が下がります。ですから、ツール・ド・フランスの最終日はシャンゼリゼ大通りから車を締め出して迎えるのです。

次に生涯スポーツとしての自転車のメリットを考えてみたいと思います。年をとるとともに筋肉



筋力低下グラフ (出典 『自転車と健康』 東京電機大学出版会)

は衰えます。腕力、背筋力、脚の筋力の低下を比較してみると、二〇代の筋力を一〇〇としますと、五〇代では腕は八〇を維持しますが、背筋は六五、脚は五〇にまで低下するのです。

「老化は脚から」といいますが加齢に伴って脚が一番早く衰えることを、昔の人は良く知っていたということです。歩くことが少ない現代人の脚の衰えは、昔の人の想像を越えたものに違いありません。さらに長寿化で関節、特に膝の障害を抱えた人の数は驚くほど多いのです。

そういう中高年にとってサイクリングは、サドルに腰かけペダルを回すことで、下肢全体を使った運動ができるし、ハンドルをお臍に向かつて引きつけることで、腕力や背筋力も使い、全身を鍛えることができるのです。ジョギング等でひざを傷めている人でも運動しやすいのは、自転車は路面のショックを吸収してくれるからです。ペダルを一定の方向にだけ回すので、ボール競技のように急なダッシュやストップもなく、関節を傷める危険性が小さいからです。

骨がもろくなる骨粗鬆症がよく話題にのぼりますが、カルシウムを摂取したうえで、適度な運動をすることで初めて骨密度は高まります。スペースシャトルの乗員がエアロバイク(自転車型のトレーニング器具)で運動するのは、筋力と骨密度の低下を防ぐ意味があります。ひざを傷めると医者はずまず筋肉を鍛えることを勧めますが、その中で最も適切な運動の一つとして、必ず自転車があ